



2019年第2回市議会

2019年第2回定例会は、7月5日の最終本会議において、一般会計約2億3,541万3千円の補正予算案や、幼児教育・保育の無償化に伴う市立幼稚園保育料条例の廃止、森林整備に関する施策等の費用に充てる基金を新設するための条例、斎場の管理を指定管理者に行わせるための条例改正、本市の国際交流を推進するための拠点施設となる「国際交流センター」を設置する条例等を可決し、閉会した。また、昨年度の国民健康保険事業特別会計の決算見込みにおいて、歳入が歳出に対して不足するため、今年度の歳入から補填する専決処分についても

承認した。

歳出予算の主なものは町内会のコミュニティセンター設置への助成や児童クラブの整備費、国民宿舎レインボー桜島の給湯施設の整備費や消防ポンプ自動車の購入等です。



今議会において、平山タカヒサは、個人質疑を行い、サッカースタジアムや県の新総合体育館の整備、幼児教育・保育の無償化や谷山第三地区土地区画整理事業等について、当局の考え方を質した。（裏面参照）

国際交流センターの設置について



国際交流センター完成予定図

旧市立病院跡地の北側に隣接する旧立体駐車場跡地に、「国際交流センター」を、県とともに建設する。

本事業は、京セラの名誉会長である稲盛和夫

氏から、2015年6月国際交流を目的に県・市へ各10億円が寄附されたことに端を発している。

同センターは、1・2階が交流施設、3～8階が宿泊施設となり、交流施設を市が、宿泊施設を県が所有することとなる。

交流施設は、200人収容の多目的ホールや研修室、調理室等が整備され、外国人や関連団体だけでなく、広く市民への貸し出しを行うこととされており、来年4月から供用開始予定です。

放課後児童クラブの整備について

放課後児童クラブの整備について、補正予算が計上された。

今回は、大明丘・大明丘第三、広木第二・広木第三、東昌に専用施設の整備等が行われる。

児童クラブや保育所における待機児童の解消は、子育て施策の重要な課題であることから、我が会派としても、更なる取組の充実を求めていく。

また、児童クラブの職員の担い手不足についても、処遇の改善等を通じて、確保されるよう取組んでいきたい。

平山タカヒサのプロフィール

- 1967年 11月30日名瀬市（現奄美市）生まれ、伊津部小学校→西谷山小学校、谷山中学校、鹿児島中央高校、県立短期大学II部商経科卒業
- 1987年 4月鹿児島市役所入庁
- 2015年 9月30日市役所退職
- 2016年 4月市議会議員選挙に出馬。初当選

市政報告

2019年

06月
議会号

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1

鹿児島市議会社民・市民フォーラム控室

電話：099-216-1438

FAX：099-226-1019

<http://www.sdp-kagoshima-city.org>

■ サッカー等スタジアムについて

【平山】三反園知事の住吉町 15 番街区をスタジアム候補地として前向きに検討するとの答弁は、本市との協議の上での答弁か。

【観光交流局長】事前に具体的な協議は行っていない。

【平山】スタジアムの規模や機能について、現時点で考えを示せ。また、建設・管理運営における「オール鹿児島」での費用分担は、どうなるか。

【局長】J1 基準の 1 万 5 千人収容規模で、「快適性」、「多様性・効率性」を備えることを想定。費用分担については示せないが、本市や県を中心に、様々な方々から協力を得ながら検討したい。

【平山】同地区での建設の協議申し入れをするのか。今後のスケジュールは。

【市長】県や地権者等と丁寧に協議を行い、できるだけ早期に、本市や県を中心にオール鹿児島で実現できるよう、候補地の選定を進めたい。

【平山】建設にあたっては、他の施策との均衡を勘案し、慎重に検討を要請する。



住吉町 15 番街区のイメージ図

■ 鹿児島中央駅西口周辺の課題(県新総合体育館)について

【平山】鹿児島中央駅西口への新総合体育館の建設にあたり、知事が「最終的な整備予定地の決定にあたっては、県民の理解が得られるように努めたい」とする答弁に対する、市長の見解を示せ。

【市長】整備にあたっては、交通渋滞や駐車場不足等の課題について、検討することが重要。4 者(県・市・JR九州・日本郵便)連絡会等において、緊密に連携し、協議・検討したい。

【平山】市民生活に支障が生じないように、県や JR九州等に求められるよう、要請する。

■ 幼児教育・保育の無償化について

【平山】国の無償化における、3 歳児の考え方を示せ。

【健康福祉局長】原則、小学校就学前の 3 年間を無償化としているが、認定こども



園の教育機能及び幼稚園については、年度途中の満 3 歳になった日から無償化の対象となる。

【平山】無償化となる金額を示せ。

【局長】認可保育所等の保育料は全額。新制度に移行していない幼稚園は、月額 2 万 5,700 円。認可外保育所等は、3～5 歳児は、月額 3 万 7 千円。非課税世帯の 0～2 歳児は、月額 4 万 2 千円を上限に利用料が無償化される。

【平山】給食費が実費徴収となるが、負担増にならないか。

【局長】給食費は、年収 360 万円未満相当世帯については、月額 4,500 円を上限に負担軽減が行われるので、負担増にならないと考える。

【平山】施設により無償化への対応や、3 歳児の捉え方が異なるので、周知徹底を要請する。

■ 谷山第三地区土地区画整理事業と都市計画道路について

【平山】土地区画整理事業の進め方や南高校前やたわわタウン周辺の交通渋滞解消のための都市計画道路の完成時期や基本的考え方を示せ。

【建設局長】土地区画整理事業については、計画的に取り組みたい。都市計画道路「惣福御所下線」は、令和 13 年度予定。「御所下和田名線」の未整備区間の整備は、第三地区の区画整理事業の進捗を踏まえ、検討したい。

【平山】早期の整備を要請する。

社長	ふじくぼ 博文 (環境文教委員会)
副社長	秋広 正健 (建設委員会)
	森山 きよみ (産業観光企業委員会)
	大森 忍 (市民健康福祉委員会)
	中原 ちから (総務消防委員会)
	平山 タカヒサ (環境文教委員会)